

乗務員の衣食住を守れ！

リニアの莫大な建設費用・維持管理費・地域住民への補償
その経費削減を社員に押し付けるな！

リニア建設以降、乗務員の待遇が急速に悪化している

- 乗務員手当の減収、廃止された一部では祝日手当・各種表彰等（無事故表彰、効績章）その他

最近職場で問題となるもの

- 食堂の営業の変更により、日曜日（新大阪）や朝食が食べられない。
- 寝具を自分でセットしなければならない。
- 目覚まし時計を自分でセットしなければならない。（起床遅延がおきている）
- 新大阪では、朝風呂に入れたい。湯船にはいりたいね（シャワーだけだと寒い）朝の寝ぼけた状態をリセットしていい仕事をしたい。
- 新大阪では、寢室に常備していた毛布がない。

コロナ禍、インフルエンザが猛威を振るう中で、さらに今度は寢室で寒さとの対決だ。毛布を必要なものは取りに行け、しかし、その毛布の管理がずさんであり、衛生的にも問題があり、必要な数があるのか不安である。コロナやインフルエンザの前に職場での寒さとの闘いだ。エアコン（暖房があるからいいのではない。）を入れて寝ると喉をやられて体調不良につながる。だから、暖房を消して寝ているのである。

パーサーの職場も寢室に毛布がなく、あっても限られた寢室しかないと聞きました。そのため暖房を入れて寝ると、乾燥して喉もやられるとのことでした。また、冬場のコート（JR西日本は支給）が支給されていない、厳しい冬場を乗り切れるか不安だそうです。冬場のホームでの立ち姿が寒そうです。コートを直ちに支給すべきである。

リニア建設費用の経費削減のために、乗務員から次は何を取り上げるのか？
政府が防衛費財源確保の増税？リニア建設と同様ではないか。国民を苦しめるのと一緒に乗務員も苦しめるな。乗務員に働きやすい環境を改善せよ。

安全最優先は！

乗務員職場の問題や不安をなくすことである！